

目標：1年次学習してきた、解剖生理学を基に、病態生理についての理解を深めることができる。

細目標	内容
<p>1. これまでの学習習慣・学習方法を振り返り、解剖生理学の復習と病態生理の学習の基礎となるように基礎学力となる人体の構造と機能の学習に取り組むことができる。</p>	<p>1) 自己の学習習慣・学習方法を振り返る。 ①学習アンケートの実施 ②グループに分かれ、自己学習を用いてディスカッションを実施する。 他者の学習方法など情報交換を実施する。</p> <p>2) 学習会の実施 ①長期休業中や放課後を活用し、学生の疑問点・質問を中心に実施する。</p> <p>3) パスノートの実施 ①夏期休業終了後より実施する。</p> <p>4) 脳ナビ ①国試過去問題：状況設定問題をもとに、解剖生理学～病態生理をグループで学習する。学習する内容は、講義で学習するものをピックアップし、講義までにまたは講義時に学習できるように計画し、学習したものを講義で活用する。</p> <p>5) 模擬試験の実施 3月：メデックメディア模擬試験（解剖生理学＋病態生理学） 1年次実施メディカコンクール模擬試験（解剖生理学）の再実施</p> <p>6) 科目試験の見直し</p> <p>7) 1年次に学習した基礎看護技術の手順と根拠を復習する。 ①3年生との合同グループでアドバイスを受けながら、練習を実施する。 ②1年次に基礎看護技術試験不合格者は、夏季休業までに合格するよう各自が自己の課題点を明らかにし、計画的に練習できるよう助言する。</p> <p>8) 学習支援の実施 ①面接・学習相談を随時行う。 ②学習支援者に対する支援として、面接・学習会の実施</p>